

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科		
科目名称	教科教育法（国語）					授業形態	講義		
科目コード	750090	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員	○	アクティブ ラーニング	○
担当教員名	瀬尾 真路								
授業概要	<p>この授業の目的は、児童に言語能力を育成するための指導力を身に付けることです。 そのために、基本となる小学校学習指導要領に示されている国語科の目標、学年の目標及び内容（言葉の特徴や使い方に関する事項、情報の扱い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項、A話すこと・聞くこと、B書くこと、C読むこと）について十分に理解します。そして、小学校の国語科の教材を用いて、教材分析や学習指導過程の作成、模擬授業等を行い、国語科の教科指導力を身に付けます。その際、小学校教員の経験を生かし、児童の能力や興味関心等に応じた指導の在り方について具体的に指導します。</p>								
関連する科目	<p>事前に、「国語」を受講しておくことが望ましいです。 履修後は、他教科の教科教育法を受講することが望ましいです。</p>								
授業の進め方 と方法	<p>教員が指導する場面と学生が考え創造する場面を区別して授業を展開します。 ○ 国語科学習指導に必要な基礎的・基本的な事項については講義中心で授業を展開します。 ○ 教材分析や学習指導過程の作成、模擬授業等についてはアクティブ・ラーニング型で授業を展開します。 * まず個人で考え、次にグループワークで考えを深め、最後にプレゼンテーションをして全体でまとめていきます。 毎回、授業の終わりに自己評価票（学んだこと、授業についての感想・意見・疑問等）を記入して提出します。</p>								
授業計画 【第1回】	<p>第1回 国語科の目標 小学校時代の国語科の学習を想起し、国語科の目標についてまとめ、国語科で育成する資質・能力を明らかにします。</p>								
授業計画 【第2回】	<p>第2回 言葉の特徴や使い方 言葉の特徴や使い方に関する事項の指導内容を学年ごとにまとめ、指導の系統を明らかにします。</p>								
授業計画 【第3回】	<p>第3回 我が国の言語文化 我が国の言語文化に関する事項の指導内容を学年ごとにまとめ、指導の系統を明らかにします。</p>								
授業計画 【第4回】	<p>第4回 A話すこと・聞くこと 「話すこと・聞くこと」の指導事項や言語活動例を学年ごとにまとめ、指導の系統を明らかにします。</p>								
授業計画 【第5回】	<p>第5回 A話すこと・聞くこと 小学校第2学年の教材を用いて、小学校学習指導要領との関連に着目しながら教材分析を行います。</p>								
授業計画 【第6回】	<p>第6回 A話すこと・聞くこと 教材分析を基に1単位時間の学習指導過程を作成します。 その際、まず個人で作成し、その後グループワークで考えを深めます。</p>								
授業計画 【第7回】	<p>第7回 A話すこと・聞くこと グループ毎に模擬授業を行い、「話すこと・聞くこと」の指導の在り方についてまとめます。</p>								
授業計画 【第8回】	<p>第8回 B書くこと 「書くこと」の指導事項や言語活動例を学年ごとにまとめ、指導の系統を明らかにします。</p>								
授業計画 【第9回】	<p>第9回 B書くこと 小学校第2学年の教材を用いて、小学校学習指導要領との関連に着目しながら教材分析を行います。</p>								
授業計画 【第10回】	<p>第10回 B書くこと 教材分析を基に1単位時間の学習指導過程を作成します。 その際、まず個人で作成し、その後グループワークで考えを深めます。</p>								
授業計画 【第11回】	<p>第11回 B書くこと グループ毎に模擬授業を行い、「書くこと」の指導の在り方についてまとめます。</p>								

授業計画 【第12回】	第12回 C読むこと 「読むこと」の導事項や言語活動例を学年ごとにまとめ、指導の系統を明らかにします。
授業計画 【第13回】	第13回 C読むこと 小学校第3学年の説明的な文章の教材を用いて、小学校学習指導要領との関連に着目して教材分析の視点を明らかにします。
授業計画 【第14回】	第14回 C読むこと 小学校第3学年の説明的な文章の教材を用いて、教材分析を行います。 その際、まず個人で作成し、その後グループワークで考えを深めます。
授業計画 【第15回】	第15回 C読むこと 「読むこと」の指導の在り方や国語科の授業設計についてまとめます。
授業の到達目標	1 話す・聞く能力を育てる学習指導について理解し、授業構想力・実践力を身に付けます。 2 書く能力を育てる学習指導について理解し、授業構想力・実践力を身に付けます。 3 読む能力を育てる学習指導について理解し、授業構想力・実践力を身に付けます。
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)
授業時間外の学修 【予習】	今回の授業内容を熟読し、重要な箇所にフェルトペンなどでマークして事前に把握します。(1時間程度)
授業時間外の学修 【復習】	学年の目標や指導事項等の要点、学習指導の在り方についてまとめます。(1時間程度)
課題に対する フィードバック	○ 自己評価票に記入された疑問については、今回の授業の初めに説明します。 ○ レポートは評価後、解答例を示し解説します。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 レポートⅠ：「話すこと」の学習指導過程(30点) レポートⅡ：「書くこと」の学習指導過程(30点) レポートⅢ：「読むこと」の教材分析(40点)
テキスト	「小学校学習指導要領解説国語編」(平成29年7月：文部科学省) 3回に分けて資料を配付します。
参考書	なし
備考	自己評価票(学んだこと、授業に対する感想・意見・疑問)を出席の確認に使用します。